

# ほめ言葉の研究

国語班 河井梨帆 川端優奈  
田崎里歩 村上飛香里

## 1. はじめに

私たちははじめに、関西でよく使われる「べっぴん」という言葉がどのようなニュアンスで使われているのか疑問に思った。他のほめ言葉についても調べていくうちに、日本人はほめ言葉をあまり使わないことがわかった。実際私たちも、ほめたりほめられたりした経験が少ない。そこで私たちは、「ほめる」という言葉の意義を調べることにした。

## 2. 研究の過程

- (1) 自分たちが言われて嬉しいほめ言葉を可能な限り書き出し、考察
- (2) 自分たちが選んだ29個のほめ言葉の分類表を作成(図1)
- (3) 男女年代別に言われて嬉しいほめ言葉と言われて嬉しくないほめ言葉についてのアンケート(図2)の実施と分析
- (4) 「ほめる」プロとして活躍していらっしゃる西村貴好氏と、接客のプロである高津理容美容専門学校の江川野先生にインタビューの実施

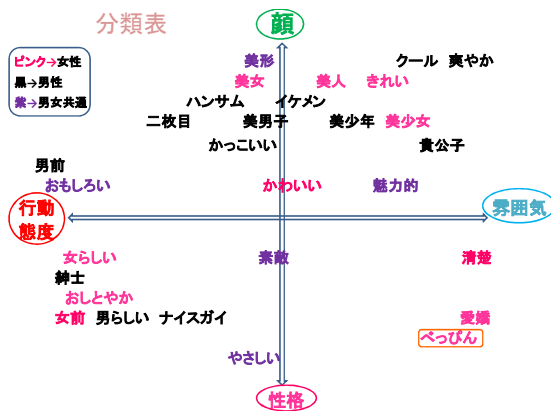


図1 分類表

## ほめ言葉に関するアンケートの実施!!

### [アンケート内容]

1. 性別
2. 年齢 { 10代以下 20~30代 40代~50代 60代以上 }
3. 語群 { 男性 ①魅力的 ②素敵 ③やさしい ④おもしろい ⑤かっこいい ⑥男らしい ⑦ナイスガイ ⑧イケメン ⑨男前 ⑩さわやか ⑪紳士 女性 ①魅力的 ②素敵 ③やさしい ④おもしろい ⑤かわいい ⑥べっぴん ⑦清楚 ⑧女らしい ⑨きれい ⑩美人 ⑪女前 }
4. その他思いつくほめ言葉

図2 アンケート調査表

## 3. アンケートの結果

・10代で、言われて嬉しいほめ言葉は男女とも『やさしい』『おもしろい』など性格を重視した一般的なほめ言葉が多い。『おもしろい』は関西特有のものと思われる。『ナイスガイ』などのジェンダーバイアスのかかった言葉は言われて嬉しくないほめ言葉としてあげられている。またその他、『たのしい』『おしゃれ』など同性に言われて嬉しいほめ言葉が見られる

- ・ 20代30代で、言われて嬉しいほめ言葉は『素敵』『かわいい』など異性から言われて嬉しいほめ言葉が多い。また、『頼りになる』『気がきく』など仕事関係で必要とされていると感じる言葉が多い
- ・ 40代50代は、『魅力的』『素敵』など外見よりも内面の良さを重視するほめ言葉が多い
- ・ 60代以上は、『知的』『若いね』など、仕事を引退しても若々しく見られたいというほめ言葉が多い

#### 4. インタビュー

##### ①ほめ達協会 会長 西村貴好氏

「他人をほめる」ことは「自分のいいところ」を見つけることにつながる。また、ほめる言葉が見つからないとき、「すごい」「さすが」「すばらしい」という“ほめ達3s”を使うとよい。いじめやパワハラ、無視など、心の中で戦っている人が多い今の時代で、ほめ言葉はそんな人たちの心を支えるだろう。

##### ②高津理容美容専門学校 江川野先生

人をほめるときには口先だけでなく本心からほめること。相手の話に興味、関心を持ち、耳を傾けることが大切である。

#### 5. 考察

アンケートやインタビューを行うことにより、私たちは次のように考えた。

- ・ 言われて嬉しくないほめ言葉は年代別での差があまり見られず、「男」「女」への偏った見方、ジェンダーバイアスのある言葉が多い
- ・ 言われて嬉しいほめ言葉は、年代が高くなるにしたがって「社会的にどう見られているか」という視点にシフトし、その傾向は仕事をはじめる年代から強くみられる
- ・ 相手の年齢、性別で言われたいほめ言葉は異なるため、そのほめ言葉を誰に言われるかどうかで受け取り方は大きく変わり、特に異性から言われた場合はその人に対する好意の度合が大きく関係する

#### 6. まとめ

ほめ言葉をうまく活用することで、人間関係が豊かになり、自分を高め、仕事の業績向上にもつながる。人と直接話す機会が少なくなっている現代社会で、じかに人と話し、相手の価値を発見して“ほめる”という行為は私たちが今後円滑な人間関係を築くにあたって、重要な役割を果たすだろう。

#### 7. 参考文献

- ・ 本間 正人 祐川京子 『ほめ言葉ハンドブック』（PHP研究所）
- ・ 西村 貴好 『心をひらくほめグセの魔法』（経済界新書）